

# 取組の柱②：インド太平洋流の課題対処

## 事例⑧：太平洋島嶼国における気候変動・環境対策とエネルギー安全保障の両立

### 1. 基本的な考え方

- 我が国は太平洋・島サミットプロセス及び二国間協力を通じ様々な支援を実施。
- 島嶼国にとって気候変動・環境問題は喫緊の課題（昨年太平洋諸島フォーラム（PIF）首脳会合で採択された「ブルーパシフィック大陸のための2050年戦略」にも明記）。
- 気候変動・環境問題解決のための支援を強化し、地域の強靱かつ持続可能な社会作りに貢献することがこれまで以上に重要。  
⇒ 相手国のニーズを尊重しつつ日本の強みを活かした協力を実施することで、活力あるインド太平洋を維持・強化

### 2. 具体的な取組

- 地域全体の再エネの更なる導入促進  
（例）民間投資促進支援及び再エネ・低炭素技術等の普及・促進、パラオ・PNG：二国間クレジット制度（JCM）の構築、サモア・バヌアツ・PNG：グリーン・トランスフォーメーション（GX）促進支援
- 電力の安定供給体制の整備  
（例）JICA技術協力、系統安定化設備の導入支援
- 人材育成、能力構築  
（例）サモア・地域全体：太平洋気候変動センター（PCCC）でのキャパビル、調査活動支援（PBPにて日本から提案中）
- 環境分野での支援  
（例）パラオ：廃棄物処分場の建設、ミクロネシア：沈没船からの油漏れ対策

